

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

メガイアワビ日本海

対象水域	日本海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部、水産研究・教育 機構 水産資源研究所 底魚資源部、福 井県水産試験場、京都府立農林水産技 術センター 海洋センター、鳥取県水 産試験場、島根県栽培漁業センター、 全国豊かな海づくり推進協会
------	-----	-------	--

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_267.pdf）、次回令和 8 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報収集調査および各府県漁獲情報の集約を実施
- ・ 各府県は漁獲統計調査を実施
- ・ 全国豊かな海づくり推進協会は府県別放流数の集約を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 福井県では2020～2023年の月別漁獲量を収集済み（*1）
 - ・ 京都府では1990～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み（*1）
 - ・ 鳥取県では2011～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み（*1）
一部地域について2021～2023年の月別漁法別種別漁獲量を収集済み（*2）
 - ・ 島根県では2020～2023年の月別漁法別種別漁獲量を収集済み（*2）
 - ・ 農林水産統計により2023年の対象海域内のアワビ類（*1）の漁獲量（暫定値）は36トンであり、2022年より5トン減少
- *1：他のアワビ類（クロアワビ、マダカアワビなど）も含まれる
*2：マダカアワビが含まれる可能性がある

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和 5 年度資源評価調査報告書を参照（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_267.pdf）
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・多くの地域で、集計では他種と合算されており、精査が不可欠
- ・島根県では人工種苗の放流が行われており、2022年には25千個を放流
- ・「磯焼け」の影響をクロアワビよりも強く受けることから藻場の状況の把握も必要